No	推進方策・目標・	. 体等	主管課	関係課	事業内容		計画	1	-		H28					H29		進捗状況	1		H30				R1		
				判除床	争未内谷	R1	R2	R3	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組 備考	進捗状	兄 実績	R2年度へ向けた取組	備考	回答担当
	方策1 市民の協働に対 目標(1)市民協働に関			D推進																							
1	市民協働推進シンプ権	ボジウムの開	協働推進課		市民協働の理念や市の取終について、広く市民にお知らせするとともに、今後の取組や活動につなぐことができるよう、シンポジウムを開催します。		<b>返継続実施</b>	5. 継続実施	計画通り i に進んで いる	要な取り組みや	が事業当日の昼 であり、資料の配 付等参加者対応 が後手となってし	ー体感をもって実施していくため指定管理者事業に 移行し、市民活動		計画通りに進んでいる	NPO団体、市長を パネリストとして 迎え、甲田氏によ	合っておらず、参 加率が低い結果		指定管理者業務 : に移管		中市民をパネリストとして迎え、中島氏によるパネルディストシンを実施した。	影響した。	会場を確保する。 また、連絡を密に 取り合い、内容に ついての協議、登 壇者へのアブ	計画通に進んいる	ネリストとして迎 え、市民活動セン ター館長吉田氏、	i i		協働推進係
2	市民協働出前講座	€の実施	協働推進課	文化生涯学習課	市民や各活動団体等の要請に応じ、市が目指す市民協働の理念や取組状況等について、市職員が講師となって情報提供を行う出前講座を積極的に実施します。	2 維維宝物	框 継続実施	起 継続実施	計画通り に進んで いる	継続して出前講座のメニューに掲載するとともに、 市ホームページのコンテンツを作成した。 【講座要請数】O 回		出前講座自体の 活用状況を把握 するとともに、提 するとともに、業の PRチラ協働に関する事業等でで る事業等で図る。 的に周知を図る。		計画通りに進んでいる		取組の認知度の向上。	引き様き、出用状と働いたに、出用状と働いま用状と働いまり、出門状と働いまで、現代のでは、現いのでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代		計画通り に進んで いる		取組の認知度の向上。	引き続き、出前講 座自体の活用状 茨を把握するとと もに、提案型協働 事、の掲載や協働 に関する事業の ほか他課に働き かけを行うなど積 極的し周知を図る。	計画通に進んいる	のPRチラシへの 掲載や協働に関 する事業等で積 極的に周知を 図った。			協働推進係
3	協働事例集の作成	ž	協働推進課	関係課	市内の各活動団体等の様々な協働事例から、ノウハウや成果等を学ぶとともに、実務の手引にもなる事例集を作成します。		発行	発行	計画通り に進んで いない	組織改正に伴い 発行を平成29年4 月とした。 【作成部数】 1,000部		SNSを活用し、協 働事業を随時紹 介いただくととも に、年度末に形で事 例集として発行い ただく予定。	か、口頭でのやり	いる	28年度に作った 事例集をブラッツ HPにリンクを貼っ て紹介。また、そ れ以外の夢例に ついてもブラッツ の機関誌やSNS やHPを活所をして しずつ紹介。	少なく、配布ができない。新規に取材・紹介をして	事例の揺り起こし。	平成29年度より 指定管理者業務 に移管	計画通り に進んで いる	プラッツのHP・ SNS等で協働の 事例を少しずつ紹 介していってい る。		紙媒体の更新に 向け、事例のストックと取材や編 集に協力してもら える人材の育成 について検討。	計画通に進んいる	事例を少しずつ 編			市民活動センター
	目標(2)新たに協働に	取り組もうとする	市民への参	加の機会づく	(IJ																						
4	市民活動・協働に関の実施	関する入門講座	協働推進課		これまで、意欲はあっても公益的な活動が伝活動がなかっまっまで、 地面する機会がなかった市とや、これらの取組に参加したいという意欲のある若い世代を対象とした講座や講演会などを開催します。	○ 継続実施	<b>西 継続実施</b>	5. 継続実施	計画通り に進んで いる	本の小宗(市) 「高陸 学の大阪(市) 「高陸 学の大阪(市) 「東京 の本阪(東) 「東京 では、2期、1 「参加者数」前期 10人(計20人) (参加者満足度) 100%	に市民活動に取り組んでいる方の参加が多数あった。 参加が多数あり度ある方の を加者満ではある。 参加者満ではあったが、対象とはあかれたが、対象マッチが楽かったため、事またため、事かがまたため、事かが来るからない。	動に取り組む市民の拡充を図に表活動に取りに、すびに、取りに、すびに利いているが、はないのでいるが、はないのでいるが、はないないのでは、ないないないない。		計画通りに進んでいる	②講演会を開催 した。 ・「外遊び」等の楽段見! は場"ってなります。 にではないは場"っても にでいるできる トークセッシンが開ぐと された少年たちへから フプコこと 名	(単分に) 計画性は、単発の語をの繰り返しては限界がある。 (②講演会は、社会課題のを発加の表別のの形式を対した。 (②講演会は、社会課題のの参加の有がとしてがあるのでは、などなどのできない。	①入門講座は連続講座として開催する。 ②講演会はプラッツ1周年に強化し、 市民活動の一下民活の関心層を広げる。	※商業施設と同じ建物内にあるため、無関心層の 来場が多く見られる。そのため、ま ずは無関心層を	いる	回修動開 学了世体を 作り 学了団体始。 選集企画を 選集の 選集の 選集の 選集の 選集の 選集の 選集の 選集の	②講演会は、引きマ 続き様々なテー題 出しで、が課題。 ③活動に興味を 持ってくれる方は いるが、その場配 いるが、その場配 いるが、そい気きに ながさらに気きに おしゃくいでき	グループにの交 接と、同様の連続 講座を引き続き実 施する。 ②多様なテーマ で複数回の開 催 他	計画通に進んしいる	ル(音楽)を活かした語 を始めた。 ②シニアのけ「課金・ ②シニアのけ「課金・ 現役の情なーリア、フランクで、 コース・ルース・ コース・ルース・ コース・ルース・ コース・ コース・ コース・ コース・ コース・ コース・ コース・ コ	ター表成講座・を実施 する。ライングと かいうスキルを身に対な にでいる。 に興味をもして市に民活もう ことを目的とする。様で ア後はならめの市民 選してもう予定。 のは、カを入れて収 起こした・シニア層の継続。 タイトル、講座内容の フィターのできない。		市民活動センター
			指導室		地域に愛着を持ち、積極的 に地域活動や協働のまちづ (北年)四484年9年の4				計画通り に進んで いる	地域程極的に地域 振極的に地域 活動や協助のまちづりに、 はいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	深めることができる方策について の研究等を行い	7		計画通り に進んで いる	児童・生徒等の子 どもたちが地域と	りに続いています。 生徒にいるでは、 いったがりを深める策にないできる研究等を ができる研究事業を 行いつつことが課題を はなるできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできる。 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできることがは、 はないできるできまできます。 はないできるできまといる。 はないできるできまといる。 はないできるできまといる。 はないできるできるできまといる。 はないできるできまといる。 はないできるできるできるできまといる。 はないできるできるできるできるできる。 はないできるできるできるできるできるできるできるできるできる。 はないできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	施する。		計画通り に進んで いる	おりたいいいが お将来の人材等 を育成するたちが地域 に重・生徒等のは どもたちが地域と つながができる。	にくの明九寺と	引き続き事業を実施する。	計画通に進んいる	ちづくりに取り組む将来の人材等を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域と	t 引き続き、児童・ 生徒等の子ども たちが地域とつとと がりを深る方象にを ができる方象にを いての研究、事業を 推進する。		指導室
5	次代の協働の担いけた各種事業の実施		児童青少 年課	地域コミュ ニティ課	くりに取り組む将来の人材を 育成するため、児童・生徒等 の子どもたちが地域とつなか りを深めることができる事業 を実施します。	等 継続実施 が	継続実施	5. 継続実施		放課後子ども教室事業の成金に 変事では、NPのランティアと協議をなったいながら、味みない、	のわ互いの立場	成のため、NPO法		計画通り に進んで いる	放課後子ども教 室事業や青少年 健全育成強調事 業など、NPO法人 や地域のボラン ティアとねカ」	場を理解しあうことで、市と協力者のより良い協働関係を構築する必	. 引き続き、月少年 ・一婦会会成のた		計画通り に進んで いる	NPO法人や地域 のボランティアと 協力し合いなが ら、放課後子ども 教室事業や青少	換を密に行い、お 互いの立場を理 解しあうことで、 市と協力者のより 良い協働関係を 構築する必要が	引き続き、NPO 法人や地域のボ ランティアと協力 し、相互の能力を 生かした青少年 健全育成事業を 進めていく。	計画通に進んいる	NPO法人やセリング NPO法人やセリング NPO法人やセリング NPO法人のボランティング S NP NPO NPO NPO NPO NPO NPO NPO NPO NPO	法人や地域のボ ランティアと協力		児童青少年課

No		推進方策·目標·施策	主管課	関係課	事業内容		計画		-		H28					H29		進捗状況			H30				R1		
					ナボバゼ	R1	R2	R3	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組 備考	進捗状況	兄 実績	R2年度へ向けた取組	備考	回答担当
	目標	(3)地域を支える各リーダーに対	する啓発・情!	報提供																							
6		<b>亨門講座の実施</b>	協働推進課		各活動団体のうち、特に地縁型活動団体及び目的型活動団体のリーダーや活動の担い手となる人材を対象に組織基盤を強化するとともに、協働に関する学習会等を実施します。	継続実施	5. 継続実施	ī. 継続実施	いる	の超に の確認を通じ、 事業と団体を続け	まったこと、また、協働先との参加費の徴取に対する認識にズレがあったため、入業	でに市民活動に取り組んでいる市民であるため、指定管理者事業に移行し、協働について理解いただけ		計画通りに進んでいる	専「原 (	定し、座学だけではないワークも提供し、実践が、得たとしたが、得たとしたが、得たが、得たでなが、得たでなが、れているかされているかない。	また、引き続きすでに活動している 層が必要な知 識、スキルが学べ る講座を展開して	指定等に 水体 なたの は かい 団 の は なん	計画通りに進んでいる	・・ 助成金を獲得する 7つの方法2」15名 ・「人が集まるチラシ デザインのコツ」35名 ・「写真を活かした広 戦戦略」27名 ・「マーケティングに効 果的なホームページ 活用講座」27名 ・「Facebookで仲間を	定し、いないない。というで、というでも、とし、いつ一をななり、というできない。このでは、このでは、このでは、ないでは、ないで、このでは、ないが、このでは、ないが、このでは、ないが、このでは、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが	し、 伴手筆も行い	計画通に進んないる	チにするチラシ講座」33名名         8「実例で学ぶWebサイト活用講座」26名         9「団体の基盤を整える	立ちからない。 立ちからないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	F	市民活動センター
	日標	(4)大学・学生との協働の推進																			1.441						
7	幸	大学・学生への市民協働に係る情 級提供及び相談窓口の充実	協働推進課	全課	大学・学生と、更に効果的な協働事業を実施するため、 協働事業を実施するため、 市の市民協働に向けた取組 に係る情報や、市内における 協働の機会等に係る情報を 積極的に提供します。また、 市との協働事業を実施する ため、相談・調整をしやすい 環境を整えます。	3	赿 継続実施	i 継続実施	に進んでいる	大学・学生との協 事事について、 連携体制を積楽している東京・ としている東京・ 大学、東、田 芸芸・ 学と連携・会規等 を会 を実施した。	新たな分野での 協働連携事業の 拡大	大学・学生との協 働事業について は、新たな分野で の協働・連携を実 施していくため、 引続き相談・調整 しやすい環境を整 える。			大学連携にから事業とは、一次のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	環境づくりを行う とともに、窓口の 周知を行う必要 がある。また、協 定を締結している 大学以外の大学	引き続き、相談・ 調整しやすい環境を整えるととも に連携体制がより 密になるよう検討 していく。		計画通り に進んで いる	建携体制で構業	大学によった。 大学によった。 大学によった。 大学によった。 大学にはいた。 大学にないた。 大学にはいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	調整しやすい環 境を整えるととも に市と大学 同士のより一層 の連携推進のた めあたな連携体 制について検討	計画通に進んている		引き続き、相談・ 調整しやすい環境を整大学、大学 同士のより・画の連携推進のため新たな連携体制について検討 する。	t	拹懄推進係
	目標	(5)企業との協働の推進	1																								
8	位作	と業に対する市民協働に関する 青報の積極的な提供	産業振興 課	協働推進課	企業に対して、市が推進する 市民活動センターや商工会 議所等を通じ、積極的に提 供します。 また、市との協働事業を実施 するため、相談・調整をし すい環境を整えます。	秘机大加	亜 継続実施	継続実施	計画通り に進んで いる	工業技術情報センターを中心に、 情報提供を実施 した。		工業技術情報センターを中心に、 情報提供の実施 を継続する。		計画通り に進んで いる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。		工業技術情報センターを中心に、 情報提供の実施 を継続する。		計画通り に進んで いる	工業技術情報センターを中心に、 情報提供を実施 した。		工業技術情報センターを中心に、 情報提供の実施 を継続する。	計画通 <sup>し</sup> に進んで いる		継続して情報提 供に努める。	Ā	産業振興課
	_				企業と各活動団体や市と が、積極的に協働事業を検 訪し、実施できるようにする ため、相互に相談・調整・情				計画通り に進んで	工業内において、グインターにおいて、グインターにおいチングを支援する所になって、グイングーでで、グイングーでで、グイングートリーに、かって企業組立たな子の名が、大学のは、大学のでは、大学ので、大学ので、大学ので、大学ので、大学ので、大学ので、大学ので、大学ので		センターHPを活用し、企業のマッチングがより一層 円滑に進むよう。 新たな仕組みの 整備を行ってい く。		計画通りに進んでいる	工業技術情報センターにおいて、企業の活用ガイドブック及びセンターによいで、から アーリー・シー・ファルし、きめ細かく企業紹介を行った。		センターHPや異 業種交流事業な まで活用し、企業 のマッチングがよ もなう整備を行っ ていく。		計画通りに進んでいる	工業技術情報センターにおいて、 企業の活用ガイド ブック及びセン ターHPをリニュー アルし、きめ細か く企業紹介を行っ た。		センターHPや異 業種交流事業な どを活用し、企業 のマッチングがよ リー層円滑に進 むよう整備を行っ ていく。	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターにおいて、 企業の活用ガイドでブック及びセンターHPを更新し、 きめ細かく企業紹介を行った。	継続して情報提 供に努める。	P.	産業振興課
9		±栗との協働を推進するための各 種仕組みの整備	産業振興課	協働推進課	報交換ができる仕組みや、 市が推進する市民協働の取 組に賛同し、協働によるまち づくりや各活動団体への支 援などに積極的な企業を紹 介する仕組みを整備します。	継続実施	継続実施	<b>継続実施</b>	計画通り に進んで いる	正果からの相談を受け、関係課と 打合せを実施するほか、情報提供	平成29年度から 企業連携につい て、政策課より事 務移管があるた め、より一層取り 組む必要がある。	情報共有の仕組みの整備に着手する。		に進んで	他市の事例等を 中心に調査を行活 動せともに、から 動せともので、 東によるのない。 東によるのない。 東にはなりなど、情報 の紹介など、情報 共有の仕組みに ついて協議した。	の開館に伴い、企 業による協働の 取組や、CSRの 活動を紹介する など、積極的に取 り組む必要があ	企業による協働の取組や、CSR			を行った。	と連携し、企業に よる協働の取組 や、CSRの活動 を紹介するなど、 積極的に取り組	引き続き、企業と 関係課をつなぐ情 報提供等を行うと ともに、市民活動 センターと連携し ながら、企業組や、 CSRの活む、企業組や、 CSRの活む、企業 との協働を経 との協働を推進 する付組みを整 備する。	計画通に進んでいる	を受け、関係課と 打合せを実施す るほか、情報提供 を行った。 また、三井住友海 上火災保険株式	ともに、市民活動 センターと連携し ながら、企業によ る協働の取組や、	ti	拹働推進係
推	進方策	2 職員の意識改革及びスキルア	'ップ																								
		(1)職員研修の充実等																									
			職員課		市民協働の理念や推進手法	<u> </u>			に進んで	関係課への情報 提供及び協議を 行った。	み、実施に向けて	協議を踏まえ、関係課と詳細な研修プログラム構築に向けて更なる検討・協議を進めていく。			関係課への情報提供及び協議を行った。	-	引き続き、関係課 と協力し、事業を 進めていく。		に進んで	関係課への情報 提供及び協議を 行った。	-	引き続き、関係課 と協力し、事業を 進めていく。		関係課への情報提供及び協議を行った。		-	職員課
10		職員研修プログラムの充実	協働推進課		を学ぶ従来の研修に加え、 実際の協働の現場において 体験型の研修を行うなど、研 修プログラムの充実を図りま す。		超 継続実施	継続実施	計画通りに進んで	具体的な実施に 向け、関係課と協 議を行った。	-	入庁6年目の職員 を対象に、協働の 現場に職員を派 遣する。		計画通り に進んで いる	6年目の職員を対 象に、協働の現 場に派遣する体	て、体験先により	職員の派遣を行		計画通り に進んで いる	派追した。	体験研修前のオ リエンテーション を必須条等要件とするなど、応募要件を 見直したが、体験 先により研修生の 満足度に差が生 じている。	た尊亜州の目古	計画通 <sup>り</sup> に進んでいる			ti	拹働推進係
	Ħ	5民協働推進シンポジウムの開催	協働推進課												-=												

[	***	<i>→ //</i> / ==	88 / 2 500	***********		計画				1100			T <sub>1</sub>		1100		進捗状況			1100			1				
INO	推進方策·目標·施策	主管課	関係課	事業内容	R1	R2	R3	進捗状況	実績	H28 課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	H29 課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	H30 課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	R1 R2年度へ向けた取組	備考	回答担当
11	目標(2)職員が協働の経験を積むため 職員が公益的な活動に参加しや すい環境の推進	協働推進課	職員課	休暇制度の啓発など、職員 が公益的な活動に参加しや すい環境を推進します。	継続実施	継続実施	5 継続実施	計画通りに進んでいない	+-	ボランティア体吸 の対象範囲を 大するとともに、 承認方法の変 を要するため、規 更の整備が必要 となる。	の拡充を図り、運		完了(目 標を達 成)	日からボランティア休暇の対象範囲の拡大を行っ		要な時間だけ取得を可能とする、		に進んで	制度の拡大を行って以降、取得促進のための周知等を行っていない。	の周知を行う必	庁内報での制度 所内報での制度 組のための周知 を行う。		に進んで	通信」に掲載し、	引き続き、庁内報 に掲載するなど、 取得促進のため の周知を行う。		協働推進係
推	進方策3情報共有及び双方向型コミュニ目標(1)市からの情報発信方法の充実		の推進																								
12	市民活動・市民協働に関する提供情報の拡充			「コミュニティサイトふちゅう」 やインターネット等を活用し て、市民や各活動団体等の 公益的な活動するとともに、 分かりやすく発信します。	継続実施	継続実施	5. 継続実施	に進んで	SNSによる情報 発信とセキュリ ティに関する講座 の開催及び質問、 団体の情報発信 力の強化を図っ た。	受講できなかった	指定管理者との 協議のもと、いまユニティサイトか、 カイナのは、 大学のでは ため、 ため、 ため、 ため、 ため、 ため、 ため、 ため、 ため、 ため、			指定を対している。 指定をはいる。 をいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 は		コミュニティサイトをいるちゅうでは、対している。これでは、対しているとともし、完了へのは、でいるとが、でいるとが、でいるとが、でいるとが、でいるとが、でいるという。というないないが、でいるというない。というないない。というないないない。というないないない。というないないないないないない。これでは、はいいないないないないないないないないないないないないないないないないないな		に進んで いる	市民活動団体の 登録団体となり を録けなり、 をはないである。 をはないできないできないできないできないである。 では、このでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	10年以上継続活用している現コートを収集を表す。 コーディサイト からり できる ちゅう 機能 できる できなり かっちゅう できなり から できなり から できなり から できなり から できない ない な	WebやSNS媒体を通じて、市民、他組 通じて、市民、他組 団体と市協・団ー ディネートでは、サイトの様の一・ディネンでは、新システム 指し、新システム は、新システム は、新システム は、東ストスリリ は、東ストスリリ は、東ストスリリ は、東ストスリリ は、東ストスリリ は、東ストスリリ は、東ストスリリ		計画通りに進んでいる	はない。 はないでは、 はいでは、	能となる場所としたなる目がしています。 は、を目がしませい。 は、を目がしませい。 は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	新たなでは、 がよういでは、 がより、 がより、 がより、 がより、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは	市民活動センター
13	市ホームページのコンテンツの充 実・活用	協働推進課		市における協働事業などの 取組等、適時情報提供でき るように、市ホームページを 活用するとともに、協働に取 り組む各活動団体の取組等 についても、市民、各活動団 体等に分かりやすく発信しま す。	継続実施	継続実施	ā 継続実施	に進んで	を作成して情報提供を行いつつ、既 存コンテンツの見	一部の協働に関する事業が指定 管理者事業に移 行するため、掲載 方法等検討の余	法等見直しを図る とともに、市民が 活用しやすいよう		計画通り に進んで いる	随時、コンテンツ を作成して情報提供を行いつつ、既 存コンテンツの見 直しを行った。	テンツをより一層 市民が活用しや すくなるよう、掲 載方法を見直す	の掲載方法等見 直しを図るととも		いる	歴時、コンテング を作成して情報提供を行いつつ、既存コンテンツの見	オノかストう 堤	引き続き、掲載しているコンテンツの掲載方法等等見直とを図るとともに、市民が活コンテンツを作成する。		計画通り に進んで いる	随時、コンテンツ を作成して情報提 供を行いつつ、既 存コンテンツの見 直しを行った。	直しを図るととも		協働推進係
	目標(2)情報共有と双方向のコミュニケ	ー ケーション機	能の拡充																								
14	双方向のコミュニケーションに向け た取組の検討・実施	広報課		市民が自分に合った広報・広 聴の手法をより一層活用す ることができるよう、SNS (ソーシャルネットワークサー ビス)を含めた各種情報媒体 の活用について適時検討す るとともに実施します。	継続実施	継続実施	5 継続実施	計画通り に進んで いる	設・活用する際の 指針となる「府中 市ソーシャルメ	用できるように、 普及・啓発に努め るとともに、引き 続き先進自治体	ンの周知機会を 設けるため、各種 調整を行う。ま た、専心自治体		計画通りに進んでいる	広報担当者説明 会で府中市ソー シャルメディアガ イドラインの周知 を図った。	用できるように、 普及・啓発に努め るとともに、引き	た、尤進日石体の取組を事例を	※協働推進課 (Facebook、 twitter)、政策課: ラグビー (Facebook、 twitter)、経済観 光課(インスタグ ラム)の導入が図 られた。	に進んで いる	広報担当者説明 会で府中市ソー シャルメディアガ イドラインの周知 を図った。	SNSを各課が活用できるように努めるともして、引きるように対した。 ・ はきながらいまからない。 ・ はきたのでは、 ・ はきないでは、 ・ はきないできない。 ・ はいいできない。 ・ はいできない。 ・ はいできない。 ・ はいできない。 ・ はいできない。 ・ はいできない。 ・ はいできない。 ・ はいできない。 ・ はいできない。 ・ はいできない。 ・ はいできないできない。 ・ はいできないできない。 ・ はいできないできない。 ・ はいできないできない。 ・ はいできないできない。 ・ はいできないできない。 ・ はいできないできない。 ・ はいできないできないできない。 ・ はいできないできないできない。 ・ はいできないできないできない。 ・ はいできないできないできないできないできない。 ・ はいできないできないできないできないできないできないできないできない。 ・ はいできないできないできないできないできないできないできないできないできないできな	メディアガイドライ		に進んで いる	広報紙やホームページ、SNS (twitter) などの 媒体で行政情報 を発信した。	情報発信に対して寄せられた市民の意見などを参考にしつつ、各種施策を展開していく。		広報課
15	市民協働のまちづくりカフェの実施 施	誅	全課	協働に取り組む市民や各活動団体の代表者、職員等が一堂に会して、テーマに応じたワークショップ形式で情報交換できる機会を提供します。	継続実施	継続実施	3 継続実施	計画通りに進んでいる		マ酸定を作いたものとしたため、事業内容の大きをしている。 を図ることが、提案いただまでは、 を図ることが、提案いただまでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	テーマと事業タイトルのかい離がな		に進んで	ピックに向けて	募や市民協働推 進員以外の職員	テーダ 集 東 の タイ ミングを工 まする マグを工 まます つくり カフリットを ここま 参明 確 テーマ の 増 切 からり からり からり からり からり からり からり で 京民にする ことを 検 ままする。		計画通りに進んでいる	火、③多又10共 生 インフィデアを	したが、庁内の テーマ応募や市 民協働推進員以	引き続き、テーマ 応募や参加者の 増加を図っていく とともに、テーマ の設定方法を検 討していく。		計画通りに進んでいる	①インフラマネジ メント、②東京 2020大会、③男	が集まるよう、従		協働推進係
推	E万東4 協働のコーディネート機能の 目標(1)協働のコーディネーターの育																										
16	協働のコーディネーターの育成及 び活用方法の検討	協働推進課		養成講座を実施し、協働のコーディネーターを育成します。また、協働のコーディネーター登録制度等、講座修了生の学びを地域に還元できる仕組みについて検討・実施します。	継続実施	継続実施	5. 継続実施	計画通りに進んでいる	前年度に引き続 き市民活・記録・協働 を実施し、受害を は必要なが、また。 はNPO・ボセシ ター画・運営に かっていただい た。	受講後の活用の場の提供。	指定管理者との 協議のもと、協働 のコーディネー ターを下がすっると もち、進事の自治等に ついてさらしていく。 ・研究していく。		計画通り に進んで いる	前年度に引き続 き推進の を主張活ディ座に サター養産すと形で 一種の 一種の 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	活動センターの事業の補助員の養成機関ではないので、主体かに活動のできるがいた。	講座の目的・内容 をさらにブラッシュ アップし、絞り込 んでいく。	度は制定されて	に進んで いる	養成講座」(全7 回)の開催。 修了生が市民活 動団体を作り活 動開始。	「つなぎすと養生など、 「つなぎすと養生など、 「でるもある」である。 「一般でして、 「一を、 「一を	「アドバンス講をル で開催し、スキルアップを図る。 経験値の不足を補うための「全なインター」		計画通り に <u>進</u> んで いる	交流づくりとモチ ボーションの維 ルー更な日まりであるれたした アップなを目からとアド アップのなきすいでは、 にバン同開参加。 をはい、ワーに の、動帯びネットのト をない、ワーに でくりすった でくりすったを実 がし、現れ でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。	アドバンスト講座、 でスキルアップ・ オットワークとモ チベーションの向 上を図る。 ティーションとしての と大き数でコーディ を出しての にもらう。 では、活用の機会を は、活用の機会を		市民活動センター

M -		<b>推准士学.</b> 只福. 栋饰	十件訊	<b>月日 / ▽ ●</b> 冊	市 紫 什 亞		計画		_		1100					1100		進捗状況			1100			1		D1		
INO		推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	R1	R2	R3	進捗状況	実績	H28 課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	H29 課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	H30 課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	R1 R2年度へ向けた取組	備考	回答担当
17			協働推進課	全課	協働に係る先進事例等の情報を収集するとともに、各方 を担えるよう、各課に市民協働推進員を配置するととも に、各課において協働を取 組を更に推進できるよう、効 果的な活用を検討・実施します。	継続実施	施 継続実施	ī. 維続実施	計画通りに進んでいる	出席を通して、市民との対話の大切さを学ぶととも	要がある。 また、主任以上と 限定しているため、見直しを図る	平成29年度の職 員研修の講師と 協議し、負担感も に、主任以上とい う対象の見直しを 図る。			各課に市民協働、 機進貨所をのの出 協働の市民協働のの市民協働の市民協働の下の協働の下の協働のでの協働の大切に をと学ぶたいできるといった。 としてできるといった。 としていた。	働をよりいた するため、市役 動性分ととも もだくととも を ただくととも 働事業是表 に に ただくこと を で いて もで 、 協 を か 、 の解い、協 し で に を と を と を と を と を と を と を と と と と と と	研修に C、オリエ ンテーションとして 古民物価推進品			各推戦局に市を協立の民民の主に、 経進員研修かまの、 は選進のでは、 を対して、 を対して、 を対して、 を必ずで、 を必ずで、 を必ずで、 を必ずで、 を必ずで、 を必ずで、 を必ずで、 でいるがでいるがで、 でいるがでいるがで、 でいるがで、 でいるがで、 でいるがでいるがでいるがで、 でいるがでいるがでいるがで、 でいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるが	の役割や研修内 容について、課に よって認識にばら	右し アまたろ トス		計画通り に進んで いる	各課に市民協働 推進員を除いて、 推進員研修かまの田民 関係のにの正の場所があり、 通数を必り、 を必り、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	課内・係内で研修 内容や学びを共 有してもらうよう 促す。		協働推進係
TE	_	5 市民活動拠点施設等の有効流 1)協働の拠点としての市民活動		活用																								
18	市	民活動拠点施設の運営に係る 民意見の反映 2)既存公共施設の活用方策の	協働推進課		より使いやすい施設とするために、市民、各活動団体等 の利用者を中心に運営協議 会を設置し、意見を反映します。	検討	検討	検討						計画通りに進んでいない	営へ反映させる	設とするため、市 民の声を施設運 営へより反映させ るための仕組み	利用者アンケート を引き続きとり多性 たうえで、より多性 たうえで、この声音を形 である。ままた、で である。ままた、で でしため、役。ままた、で の大の、役 のもを施さるの の仕組みの を検討する。		計画通り に進んで いない	利用者を が が が が が が が が が が が が が	市民の声をより施設運営に反映させ、使いっぱなし にならない意識の 醸成が必要。	利用者アンケート、日常のロビーワーク、ブラッツへの手紙営協議会」の設置についても引き続き検討する。		計画通りに進んでいない	利用者アンケートの実施、ブラック、の実施、紙ボックス、の設置。また月2回の相談的なロットで、ファックのよりで、ファックを表します。	ト、日常のロビー ワーク、プラッツ への手紙のほ か、運営協議会 の設置は次年度		市民活動センター
19	協	を表現されている。 働の推進のための場としての既 公共施設に係る活用方策の検	Z= ◆称 +左 =□.	各公共施設所管課	公共施設マネジメント の考え方に基づく、既存公共施設の在り方や機能の見直しに当たっては、市民協働機能も含めた市民ニーズを捉えた活用ができるよう、各施設所管課と検討を進めます。	· · 継続実施	施 継続実施		計画通り	協働の推進のた活の場合の活の場合の、日本地での活用もない。 既存用を取組の存存用を取組の存です。 ない土地を取組のをする。 ないまない は、	課題があり、その 解決が協働の推 進のための場とし ての既存公共施 設の活用に向け	平成29年度作用 ランの最終目標を年度を 成にの最大の日本 成にになっためけて が1次推進プラン の取組を踏まる、 新たなプランを策		計画通りに進んでいる	協働の推進のた めの増としての既 存公共施設の活用を含めた公共 施設マネジメン・で、 着実に推進してい 着実に推進してい 中市公共施設プ ランを策定した。	成件公共施設に ついて、老朽化の 進行状況や市の 財政状況も繁末	ト推進プランに基 がき、美宝に取組		計画通りに進んでいる	共施設マネジメント推進プランで定める各施設の取 組の進ちょく状況	財政状況も踏ま	共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるように、適切な進行管		計画通りに進んでいる	ト推進プランで定 める各施設の取	第2次推進プラン に基づき、各施設 における取組の 適切る進行管理 を行う。また、第2 次推進プラが消済 するため、新たな ブランの策定に向 けて検討を行う。		建築施設課
20		3) 新庁舎における協働を支える 庁舎における協働を支える場の 備			府中市庁舎建設基本計画の 考え方を踏まえながら、新庁 舎建設の設計において計画 した、市民との協働を支える 場を整備します。	継続検討	計 継続検討	<b>継続検討</b>	に進んで	基本設計において、新庁舎機能をたる庁舎機能を担う「お舎機能をを担う「お舎機能働を支える「し、市ためで、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、	るいはなれ」の機能として、他公共施設の機能を与してがら具体的に運用方法等を検討する必要がある。	現在進めている 実施設計におい て、より具体的な 運用方法を視野 に入れながら ハード面の整備を 検討する。		計画通りに進んでいる	実施設計において、市民と市の協働のための「市民協働ラウンジ」の具体的な設備等を定めた。	方法についてより	して設計は完了したため、今後は、 エ事に向けて市 民協働のあり方 等の動向に注視	度着工、平成35 年度におもや完 成、平成39年度	計画通り に進んで いる	りにより、「甲氏	「はなれ」完成時期を踏まえ、市民協働ラウンジの具体的な運用方法について受めていく必要がある。	市民協働のあり 方等の動向に注 視していく。	令和元年5月に見 直しを行い、新庁 舎建設工事の着 工時期を令和3年 5月とし、しゅんエ を令和8年11月に 予定している。	に進んで	舎へ先行移転した市民協働推進部において、新庁舎で想定しているオフィスレイアウト及び備品の試行	ともに、市民協働 のあり方等の動 向に注視しなが		新庁舎建設推進室
推	_	6 市民自身が市民の活動を支え																										
21	寄		政策課	全課	市が推進する市民協働の取組に賛同いただき、資金面で支援いただける方からの善意を汲み取りやすくするため、寄附に係る窓口の一本化や手続の簡素化を図り、弱附をしやすい環境づくりに取り組みます。	継続実力	施 継続実施	5. 維続実施	計画通りに進んでいる	寄附手続の簡素 化を図るため、平 成28年9月にイン ターネットン専 用ボータルサイト から寄附手続が 行えるよう整備し た。	始めたばかりということもあり、本市 の魅力をPRする 返礼品の種類が	説明会等を実施		計画通りに進んでいる	ふるさと納税の返 礼品掲載に係る 説明会を実施す るなど、返礼品の 拡充を図った。ま た、市内事業者だけではなく、「ボー	寄附金額を一定、 原とは、 には、 には、 のリニーで、 のの要となるれ、 のの場となるれ、 に関拓で存み、 のの場合できると のののできると のののできると のののできると のののできると のののできると のののできると のの関発などが、	きるよう、ノウハウの祭とは ウの業との 変とも の業との の業との の業との のまた、第6次府中中 た総合画の 本目標で定める4		計画通り に進んで いる	内事業者向けに ふるさと納税の返 礼品掲載に係る	定期的な返礼品のリニューアルが必要となるため、新規の返礼品の開拓や府中市をPRできる特産品			計画通りに進んでいる	ふるさと納税を通びて本市の魅力を じて本市の魅力を PRするため、市 内事業者向けに ふるさと頼税に係る 礼品掲載に係る ホームベー・ 取ったべきに返 礼品の変流を 記して実施充を 図った。	新規版和中華 新規版和中華 市品のする 市の内容 の内容 の内容 の内容 の内容 の内容 の内で の内で の内で の内で の内で の内で の内で の内で		政策課
	目標(2	2)コミュニティビジネス実施団体	の育成及び	支援																								
22		ミュニティビジネス実施団体の育 及び支援	協働推進課		コミュニティビジネスを実施する市民活動団体や企業等の育成及び支援に取り組みます。	- 継続実力	施 継続実施	5. 継続実施	計画通りに進んでいる	コミュニティビジネ スガイダンス・個	てるため、講座や 相談の曜日設設 定を検討する必	協議のもと、コミュ ニティビジネスの 育成・支援に資す		計画通りに進んでいる	の開催を通じて、 コミュニティビジネ ス実施団体の育 成・支援を行っ	増加していないた め、周知方法や 内容を見直し、よ り市民利用しやす	知するだめのデフ シの変更や内容 の見直しを行い、 利用機の向上 も も も も も も も も も も も も も も も も も も も	平成29年度より 指定管理者業務 に移管		SB/CB個別用相相別テストリールでは、13クール)の開作を発える人門の開作をの記まる通じ来を促した。の記まで促したの記まで促出一の利力した会と、近後につ交合なマンスの場合である。というでは、14世紀でである。とび、14世紀では、14世紀	育成のための、 地域内の他機関 との連携の場が できていない。起 業支援スペース のキャパシティが	関、商工会議所・ 経済観光課との 連携体制づくり。 テーマを特化した SB/CB起業に関			地域機関と連携し セミナーの開催 などに取り組ん だ。	マッチイングできる仕組みを作った。お業支援コー		市民活動センター

Column   C	🗆						計画		-					T				進捗状況										
Part	No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	R1	R2	R3	進捗状況	実績		次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績		次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績		次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績		備考	回答担当
The column   Column	推																											1
Part	23	市民提案型協働事業提案制度		全課	き、協働事業の実施を市に 対して提案をできる制度について、複数年度で実施できる		<b>施 継続実施</b>	i. 継続実施	に進んで	事業進め方ガイド ブックを作成し、 抗操案団体及び、市 担当に事業を改 図った。 【平成28年度 事業 3事業 【平成28年度実施 事業数	田かめり、柏米二 老tro++で時間	めるとともに市民	募集(約30年相 東東 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京		設けることで提案には至らなかった。 中では一次では、相談性のでは、 が、相談性のでは、 中では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	ジュール上、次年 度以降担当課に おける事業化に	募集(平成30年度 実施のから複数年 度をでいる複数年 度でのなります。 課とと調整を行う。 に、 で、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、		計画通り に進んで いる	募集(平成30年数年 実度能のなる生産 実施が提高では、 実施の投るようで、 にのはるようで、 にのはるようで、 にのはるようで、 にのはるようで、 にのはるようで、 にのはるな、 にのはるな、 にのはるが、 にのはるが、 にのは、 にのな。 にのなる。 にのな。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのなる。 にのな。 にの。 にのな。 にのな。 にの。 にのな。 にのな。 にのな。 にのな。 にのな。 にのな。 にのな。 にのな。 にの。 にのな。 にの。 にの。 にの。 にの。 にの。 にの。 にの。 にの	募実度能いの解要ま務にらの解要ま務にの解要ま務にの解要ま務にし、周角推あ事定した。 国を推るの解をがた、指定を持つといる。 は、自動性がありまでは、自動性がありまでは、自動性がありまでは、自動性がありまでは、自動性がありまでは、自動性がありません。 は、自動性がありまする。 は、自動性があります。 は、自動性があり、自動性があり、自動性があり、自動性があり、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性があり、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、自動性がも、 は、 は、 は もし、 は もし、 は もし、 は もし	層の制度周知を 図るため、市民協 働推進員研修や 管理監督職対象		に進んで	3事業 【令和元年度実施 事業数】	図るため、市民協 働推進員研修や 管理監督職対象		
### 1995	24	行政提案型協働事業提案制度 充実	の 協働推進 課	全課	テーマに基づき、協働事業の 実施を市に対して提案できる 制度について、より活用しや すい制度となるよう検討し、	の る 雑結宝物	钷 継続実施	継続実施	に進んで	型協働事業と併 せて事業の周知	あるため、テーマ の募集時期等を 含め、改善を図る	善が見られない 場合、他の取組と 連動させるなどの		に進んで	しを行うとともに 協働可能性頂査 において事業か 活用など、提案数増 加のための改善 を行った。 (平成29年度提案 3事成29年度実施 事業数! 事業数!	マ応募が少なく、 提案数も減少傾	調査で行政提案 型協働すの 用を促す。 また、市 候 や 守 また、 研 い また、 研 い また、 研 い き が き が き 施 す る 、 な の り 、 、 、 、 の り 、 、 の り 、 の り 、 の り 、 の り 、 の り 、 の り 、 の り 、 の り 、 の り 、 の り 、 の り 、 の 、 の		計画通り に進んで いる	しを行うとともに 協にいて行事業性に調査 にないて行事業力を行う事件といる を行うます。 を行うないでは、 を行うない。 「事業数」 「事業数」 「事業数」 「事業数」	マ応募が少なく、提案数も減少傾	を見直すとともに テーマ応募時に 他市事例の紹介 など積極的に活			を見って応募に テーホ事な用を応募に が表現を がした。 に活数増を がした。 が表現を がした。 が表現を がた。 のは、 がた。 のは、 がた。 のは、 がた。 のは、 がた。 のは、 がた。 のれた。 にあ、 をを のなか。 で、 のれた。 のれた。 。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 。 のれた。 のれた。	マ応募が少なく、 提案数も減少傾		協働推進係
	25		是協働推進課		との協働事業の実施を提案 できる仕組みについて、検討	6世 6本 中 16	迤 継続実施	. 継続実施	に進んで	施に向け、調査・	に課題が生じたた め、引き続き検討 を進める必要が	め、引き続き検討			において、整想というでは、ないで、整想となって、整想となって、事業にはない。事業には、自的に、これで、事業には、これで、事業には、これで、一次ので、一次ので、一次ので、一次ので、一次ので、一次ので、一次ので、一次の		が「ブラッツと。」 で中間支援組織 として提案団体の 伴奏サポートして いく中で新たなつ ながりが生まれて いるのを踏まえて、 市においても引き がいまも引き		計画通り に進んで いる	において、のでは、いて、のでは、いて、の発生して、ののでは、いて、の発生している。では、いて、のでは、いて、のでは、いて、のでは、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、いて、		が「ブラッツと。」が「ブラッツと。」で中間す変援組織というでは提案では、一様ない、主体の新生まれている。そのでいる。そのでは、そのない。そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、			にないて、 を表しますが ないる発表も経のの「 の発表も経のの「 が成うツ業からし、と画画団 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	が「プラッツと。」が「プラッツと。」で中間支援組織とした。」で中間支援団体の住奏中で、様々ない主体の新生まったないる。を改まったないる。を改まえている。おいても引きいても引きいても引きいても引きいてものがによった。		協働推進係
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日		目標(2)市の事務事業に係る協働	事業化の検討																									ı
28 中国					性を検討するため、引き続き 協働可能性調査を実施します。 また、調査結果を活用すると ともに、事務事業評価制度と 放策会議などを通じ、新たな 協働事業の実施に係る提案	☆ 継続実施	迤 継続実施	i 継続実施	に進んで	各主管部課で実施している全事務事業を協働の視 事業を協働すこと可能性調査」を可能性調査」を実施を した。	の結果をもとに、 を の余について 見ある事働事としていて は協象事態にしていて はは行政第1のようが はは「行政第1のようが積値 はは「行政第1のようが積値 はず行びまが、 はもいて型度び、 はもいて型度が、 はもいて型度が、 はもいて型度が、 はもいてでは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいででは、 はもいでは、 はないではないでは、 はないではないではないでは、 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	目の見直しや、より新たな協働事業の実施に係る 提案が促進でき		計画通り に進んで	しを行い協働・事提 について行政業について行政業別に結婚するといる 案型協働事では、 活用に結う、改成に ものるとともに 調査方法につい	ない事業に定ない事業には「事業に提案制度では、「行政」のように提案しているが、まりまには、まりには、は、というでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	目の見面した問査 を通じた生物を よりは働事にを を通じて極的に より協働事提案が な協働事提案や 職員提案を の 業務改れるよう働		計画通り に進んで いる	しを行い協働で実施していないのでは、 をしていないで行事といいて行事といいて行事を必然においるというであるという。 を図を行ったいには働いている。 はいいでは、 はいでは、 といでは、 といでは、 といでは、 といでは、 といでは、 といでも、 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと	ない事業にでいます。 ない事業にでいます。 ないは働事業」のようは を活用けているが持までは、 は当までは、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいできるが、 はいにできるが、 はいにできるが、 はいでもなが、 はいでもなが、 はいでもなが、 はいできるが、 はいできるが、 はいできるが、 はいでもながなが、 はいでもながなが	目の見直しを行う の見可能性質素を通じてを行う を通じてを対してを対してを対してを対してを対してを対してを対してを対してを対してを対し		に進んで	の実施に係るを 実施に係るを 民促進するを 時間で 時内へ 報題にで で に の に の に の に の に の に の に の に の に の	協働化の検討 物、新たな協働事業の実施に進する。 提案が見きませい。 引き案型協働 事業リ、ブラック 所の及び企業連携の否 用について、周知		協働推進係
27	推:				るルールの整備																							1
1   1   1   2   2   2   2   2   2   2	27	協働事業の相談・提案に係る! とマッチングに関するルールの 知	そ付協働推進 周 課	. 1-(2)	市民や各活動団体から、協働事業の実施等について相談や提案を受ける場合や、 場合のマッチングの仕組みなど、協働事業に関する手 場合のマッチングの仕組みなど、協働事業に関する手 順などを示す庁内のルール	継続実施	듄 継続実施	; 継続実施	に進んで	募集要領」及び 「提案型協働事業 進め方ガイドブッ		問をQ&Aとして掲載するなど、引き 続き内容の充実		に進んで	「提案型協働事業成にあたり、問合せが多い質問を Q&Aとして掲載表 内容の充 図った。 の方と、引実を 図った。	の事前相談業務が市民移るため、市民をの周動をは、一日のでは、市民のの周動をは、中民のの方の理のでは、中に、市性をは、中に、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では	が多い質問の Q&Aを更新する ほか、市民活動 センターへの事前 レクや自治会回 覧等での周知を		計画通り に進んで いる	募集たい。 東東にがQ&Aな容のた。 本の図った。 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、		が多い質問の Q&Aを更新する ほか、市民活動 センターと連携し ながら制度周知		計画通りに進んでいる	募集をにがいる。 事集をはいる。 のの合せでは、 のをAとして、 のをAとして、 のをAとなるのた。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 は協の「あを、 をが、 が、 のと、 のと、 のと、 のと、 のと、 のと、 のと、 のと	へのAを田虻士ス		協働推進係
1112 (100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	28	市民協働推進委員会の設置	協働推進課		いて、連絡調整を行うため、 協働事業を実施する関係部 署において構成する市民協 働推進委員会を設置すると	,	施 継続実施	. 継続実施	に進んで	働の推進に係る 各種事業の報等 も記して、主とを制 して、ととを制 を持ちを通 を行うととを計画して、対 を が が が が が が が が が が が が が が が が が が	各課において協働を推進できるような働き掛けについて、より意見を いただく必要がある。	継続して当該委 員会を設置し、関 係都署とでの連絡 調整を行ってい く。		に進んで	働の推進に保 等で を を を を を を を を を を を を を を を を を を	の実施時期の見 直し等により適切 なタイミングに開 催ができず、情報 交換の機会が	員会を開催し、より効果的・効率的に情報交換ができるよう取り組ん		計画通り に進んで いる	働各種果の実施を整施している。 ・主要の要素を表現している。 ・主要の要素を表現している。 ・主要の要素を表現している。 ・主要の要素を表現している。 ・主要の要素を表現している。 ・主要を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	働を推進できるよ うな働き掛けにつ いて、より意見を いただく必要があ	継続して当該委 員会を設置し、関 係部署との連絡 調整を行ってい く。		に進んで	働な種に保 を種 を種 を を を を を を を を を を を を を	継続して当該委 員会を設置し、関 係部署との連絡 調整を行ってい く。		協働推進係協働推進係

							計画											進捗状況										
No		推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	R1	R2	R3			H28					H29					H30		l			R1		
29		市民協働推進会議の設置	協働推進課		協働の推進に係る取組の進 捗状況等について評価・検 証を行うとともに、基本方針 や市民協働推進行動計画の 見直し、条例制定等について調査・研究を行うため、市民 や学識経験者等で構成する 市民協働推進会議を設置し ます。	継続実施	區 継続実施	継続実施	進捗状況 計画通り に進んで いる	協働事業の評価を行うとともに、提案型協働事業の選定を実施。 【開催回数】	協働事業の評価 及び提案型協働 事業の選考のほ か、平成29年度 については、行動	の運営となるよう、資料を事前送付する際に、次回会議の論点のポイントを記載する	做专	進捗状況 計画通り に進んで いる	実績 協働事業の評価 事業の評価 事業の評価 事業の選定中間程 直に関する含めた で要許を行った。 【開催回数】 5回	果的・効率的にヒ アリングが実施で	項の調査を行い	備考	計画通りに進んで	協働事業の評価、提案型協働事業の選定、協働の推進に関する条例の要否を	課題 より効果的・効率 的にヒアリングが検 実施できる必要があ る。	価を効果的に行うことができるよう、	備考		協働事業の評価、提案型協働事業の選定を 行った。 また評価項目や 評価方法の見直	R2年度へ向けた取組 ピアリング及び評う 価を効果的に行う 定ができるよう、 実施方法の見直 しを検討する。	備考	回答担当 協働推進係
30	B	(3)政策形成過程への参画のた 付属機関等に係る公募市民枠の 広充		制度の拡充	市の施策の検討等を行う際に、広尓市民の意見を聞くため、附属機関等を設置する際には、公募委員制度を積極的に採用するとともに、より市民が参画しやすいよう、制度を拡充します。	継続実施	越続実施	継続実施		1120.7.1561	い設直期间が長い機関について	公募委員が在籍 する附属機関等 の割合が増加す るよう、関係課に 働きかけを行って いく。				専門的な知識、 経験を有する者を 委員とす期間が長 い機関について は、改善が困難 である。	公募委員が在籍 する附属機関等 の割合が増加す るよう、関係課に 働きかけを行って いく。		に進んで	H30.4.1現在 44.9%(前年比- 1.4%)	専門的な知識、 経験を有する者を 委員とす期間が長 い機関について は、改善が困難 である。	公募委員が在籍 する附属機関等 の割合が増加す るよう、関係課に 働きかけを行って いく。		に進んで	H31.4.1現在 45.1%(前年比 +0.2%)	調金を週上に行い、公募委員が 在籍していない機 関等については	専門的な知識、 経験を有する者を を設置調問が長い機関について は、改善が困難 である。	政策課
推	進方策	§9 協働事業の評価·検証の仕組	祖の整備																							- 10		
31	iii	(1)評価・検証の手法の検討・整 呼価結果等の共有及び改善に向 けた取組の実施		全課	市民と市とが実施した協働 事業について、市民と市それ ぞれの立場から、整備をした 評価、検証の手法に基づき 点検・評価を行い、課題や改善点を共有するとともに、具 体的な改善に取り組みます。		極 継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	老にサカ」た。ま	収費点について 把握する必要が ある	評価対象事業に ついて後追い調 を実施するな ど、改善の取組を 把握する。		計画通りに進んでいない	耐度に基づさ評価を実施し、評価 結果を事業実施者に共有した。ま	実績調額を等の直面を等の直面を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	評価結果の公表 とあわせ、評価対 象事業について 後追い調査を実 施し、改善の取組 を把握する。		いる	評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組の把握を行った。		引き続き、評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について実施対象後追い改善の取組を把握する。			協働事業等評価制度に基地に対している。 制度に基地に、評価価を実事事業にあると、 に、一方のでは、 は、一方のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、 改善の取組を把		協働推進係
	न	市民協働推進会議(仮称)の設置	協働推進課													から かってい												
推	進方策	610 協働の取組を効果的に進め	かるための行動	加計画の策定	こと とり																							
32		(1)市民協働推進行動計画の進 市民協働推進行動計画の見直し	14 12 14 16		市民協働を効果的に推進するため、社会経済情勢の変 化等を踏まえ、市民協働推 進行動計画の見直しを行い ます。			検討						完了(目標を達成)	平成27年度、28 年度の取組内容の連維を動物を動物を通過機能を の表になり、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では													協働推進係
33		品働に関する事例等の調査・研究 の実施	記 協働推進 課		市民協働の効果的な推進に 向けて、他自治体における 先進的な協働事例等につい て、調査・研究を行います。	継続実施	ī 継続実施	継続実施	計画通り に進んで いる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事例等について、 調査・研究を実施した。		継続して協働に 関する事例等に ついて、調査・研 究を行う。		計画通り に進んで いる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事について、 調査・研究を実施した。		継続して協働に 関する事例等に ついて、調査・研 究を行う。		に進んで	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働 事調査・研究を実施した。		継続して協働に 関する事例等に ついて、調査・研 究を行う。		計画通り に進んで いる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事について、 調査・研究を実施した。	関する事例等に ついて、調査・研		協働推進係
34	######################################	品働に関する各種アンケート調査 等の実施	課		市民協働の進捗状況や成果 等を把握するとともに、効果 的な推進方策を検討し、市 民協働推進行動計画の見直 し等に反映するため、適宜、 市民や各活動団体、職員等 に対し、アンケート調査を実 施します。	継続実施	៛ 継続実施	継続実施	計画通り に進んで いる	「市政世論調査」 や、庁内の「協働 事業に関する実 績調査」、「職員 意識調査」等、各 種調査を実施し た。		回答しやすいよう、適宜調査票の 見しを行うとと もに、継続して各 種アンケート調査 を実施する。		に進んで いる	「市政世論調査」 や、庁内の「協働 事業に関する実 績調査」、「職員 意識調査」等、各 種調査を実施し た。		回答しやすいよう、適宜調査票の見直しを行うとともに、継続して各種アンケート調査を実施する。		計画通り に進んで いる	「市政世論調査」 や、庁内の「協働 事業に関する実 績調額査」、「職員 意識調査」等、各 種調査を実施し た。		回答しやすいよう、適宜調査票の う、適宜調査票の 見にを行うとと もに、継続して各種アンケート調査 を実施する。		1二准んで	新来に関する美 続調査」、「職員 意識調査」等、各	回答しやすいよう、適宜調査票の う、適宜調査票の 見直しを行うとと もに、継続して各 種アンケート調査 を実施する。		協働推進係
		市民協働推進会議の設置 (2)市民協働の推進に関する条(	協働推進課例の制定に係	る調査・研究	の実施																							-
35	 	市民協働の推進に関する条例の 制定に係る調査・研究の実施		WENT NIN	条例を制定している先行事 例について調査を行うととも に、その要否を含め、条例制 定の課題等について研究し ます。	検討結果に応じ対応	模討結果 に応じ対 応	・検討結果 に応じ対 応	計画通りに進んでいる	全国813市のホームページから、市 大公一ジから、市 民間する条例の推進に関する条例の制定状況について 調査を実施した。		市民協働推進会 議において、検討 を行う。		計画通りに進んでいる	先進事例である、 長崎市へのほか、 を実施したのほか、 協働に関する条 例制定市93市の うち、人口規模が うち、人口規模が 同程度の自治体9 市に関査を実施した。		引き続き、市民協 働推進会議にお いて、検討を行 う。		計画通り に進んで いる	市民協働推進会 議において、検期を を行い、後期多各 施策の取組の協 働による成果判断 することにした。		後期基本計画に おける各施策の 取組の協働によ る成果や他市事 例に注視してい く。		計画通りに進んでいる	市民協働推進会議において、検討本語画における協議の取組の協働による成果をふまえ、改めて判断することにした。	おける各施策の 取組の協働によ る成果や他市事 例に注視してい		協働推進係